郵便番号151 電話 402-3646 し注目に値する発展があるなら、 来年の世界政局で最も注目され

振替口座番号東京7-163103 部 120円 1 カ年 6,000円(送料共)

らっに発展するか、

互いに相手に関係改

アンドロポフ氏

んととは注目された。

ガン氏はソ連に対し真剣

てデタントを呼びか

アンドロポ

第621号

連の指導者の交代から暫くの時期

た。中ソはますます再接近してゆ これに対して中ソ関係はア いちじるし

中ツの急速な接近は、 レジネフ氏の葬儀参列のためモ

総理

世間の非難を無視して実力者

姿勢だ。警察官僚出身者が多 「力」の政治をやるから国 ハと警察官と政治家とし

昭和57年12月20日

月曜日

係が急に改善に向う要素は、 レジネフ外交の初期がそうであっ

/連の外交が穏健化

のところ見当たらない。

は記者会見で「多少の非難はあ 成果を上げるか 身者グルー があったのは、 政治的中立性が失われ旧法の基 権力が特定の政党や警察官僚出 本でもあった市民統制の原則が 朗れてしまうという点にあっ 旧法五条が現行

府は今後の実績で国民の疑惑を る限りまさに当時憂慮され 去る遺任があるわけ

警察とは、秩序維持の 目的

には貿易摩擦

しれらの問題を解決するこ 一で内外の信頼を

物理的な「力」

、財政再建や行政改革でり、 解消とその基盤 ならないほど 刀の鉄の規律が いる周辺の諸国をまねるよ

「法」の代用を

意識が高まっ

學重することだ。

かある からの撤兵を考えているともいわ である。正常化についての上常化を進めていこうとい 三条件にこだわらないと 積極的な態度と見てよ 一部削減されたとの情報 ソ連はアフガニスタン すでに中ソ国境のソ

まで発展するか

ソ交渉の障害の一部は、

会地はないのだが、では一体どこうつあることには、もはや疑問の は人種、利害を

しも前から呼びかけてきた関係改 「の提案を拒否してきた中国が、 まず動機である。中国の基本政 まになって積極的に応答した理 。ブレジネフ氏が十年ほ は近代化である。

警察官僚出身の官房長

一獄を恒久化する立法等は論外 浦や自白強制の事例も続出し 違法捜査の温床となる代用 減少しており、 口を広げすぎたから 保安、

らには、一九五〇年代前半の(マルシェ仏共産党書記長)。

い。ドゴールは対ソ接近に際して 言った。ソ連の国境の南に、無数 ・。

ドガーレます/

受了工芸

ラブ民族との感情は決してよくな で強力なものか。人種、利害を超 り関係はそこまで戻るまいとの見り関係はそこまで戻るまいとの見 い、と。また、こうもいった。中人にとって不気味でないはずはな ーはそこま という その逆のこともできるのだ。

と主張するつもりはない。しかいから、私は自分の見方を正しい て予言する能力は、)関係の改善、接近の程度に

それ以外にこうも考えてきたので 田付けを妥当なものとは思うが、

常化はニクソン訪中による米中接

いうまでもないが、日中関係正

おく必要があると思う。

ても重大事であることは注意してし、今度の中ソ接近が日本にとっ

近が引金となって実現したもので

策を根本的に変えさせえなかった などである。また、ベトナム「制 裁」について弱待していた祝福を がワイト・ハウスから得られなか のたことに、鄧小平氏は腹を立て はいうまでもなく、米国の台湾政の見方は一般的である。その第一 に対する失望を大きくしていると の基本的関係は三極構造――三角ニクソン訪中以後、米、ソ、中 ームになれば、米国と二人連れよととは明白である。三角関係のゲ 拘束を感じるようになったのでは ないか。三角関係の方が、米国に は、米国に接近し過ぎたために、 だ。だから中国は、米国に接近し過 り行動の自由が大きくなるはず 密着しているよりは自由が大きい であった。ところが中国

ぎてイビツになった三角形を、 っとまともな三角形に戻したいの

だ、これについて二通りの見方が、これについて二通りの見方が、これについて二通りの見方が があったようで、それが米国離れ ではみたが、いろいろいろと思惑違い 、マレンエム共産党書記長)。さまで進むだろうといろ見方である そとで、 米国離れした振子は逆 35

まで発展するだろうか。

日はなぜ最近になって改善を決意

・東京外語大教授)。 ・東京外語大教授)。 ・東京外語大教授)。 ・東京外語大教授)。 越するほど強力なものか、

にベトナム人だ、 と。イデオロ 共産主義者は 芸産主義者である である前に中国人だ。ベトナムの国の共産党指導者は、共産主義者 え減額を余儀な ろうか。こういうことからも、中 たソ連帝国をまとめ上げる実力は に依存せざるをえないのではなか はなりにくいのではなかろうか。 ノ同盟時代のようなソ連一辺倒に

できる日本

私にはな 一日本は十分に警戒すべきだろう。 (評論家)

た。つまり、日、米の中国接近中接近の幕間劇的なものであっ ある。そして、日中条約の直接の 結果としてソ越友好協力条約が結 「制裁」と続いた。 日中条約は米小平氏の訪米、中国のベトナム さらに米中関係正常化、

そうなれば一つの極 专 一体の外交だった。 一体の外交だった。 日中条約の「反覇権」条項 をどう位置づ

超越するか

ければいいの

「反覇権」

た。日本もずいぶん抵抗したが、連は日本に対して何度も警告に あることは明白だった。だからい 観測があり、また、そのように中 がソ連を対象 としたもので

欧圏の支持にさえ困難をきたして いる。キューバやベトナム援助さ ソ連は大変な経済難であり、東 より大きい行動の自由をえら ソ連の方に近答るそぶりを -つまり「ソ連カード」 世界の旗頭として るのではないか。 くされた。そうい その時その折便 の官民は日中永遠の友好などとハ 界平和に危険だといい出して(マ 権主義」よりも「米帝」の方が世 本に強要した中国が、 うよりソ連の対日感情を悪化に一 国から吹き込まれた。 かも、この条約を結んだ時、日本されたようなものではないか。し の二階に追いやられて梯子をはず のだ。日本としては、「反覇権」ルシェ談)、ソ連に接近し始めた 追いやるように「反覇権」を日 しかし、日本を反ソに・ いまや「覇 とい

50 は、 きた日本の対中外交に、 近する中国の外交のやり方には、 まい。それより以上に、日本に対 は日中関係の維持には努めると思 かの影響をもたらさないとも限る は必要不可欠だからである。 ながら、自分はさっさとソ連に接 し、対ソ関係冷却化をそそのかし もっとも、米国離れしても中国 中国の近代化には日本の援助 米国とほとんど一体となって 中国の米国離れと対ソ接近 いつか何

、世界的に膨張し